

グローバルREITウィークリー

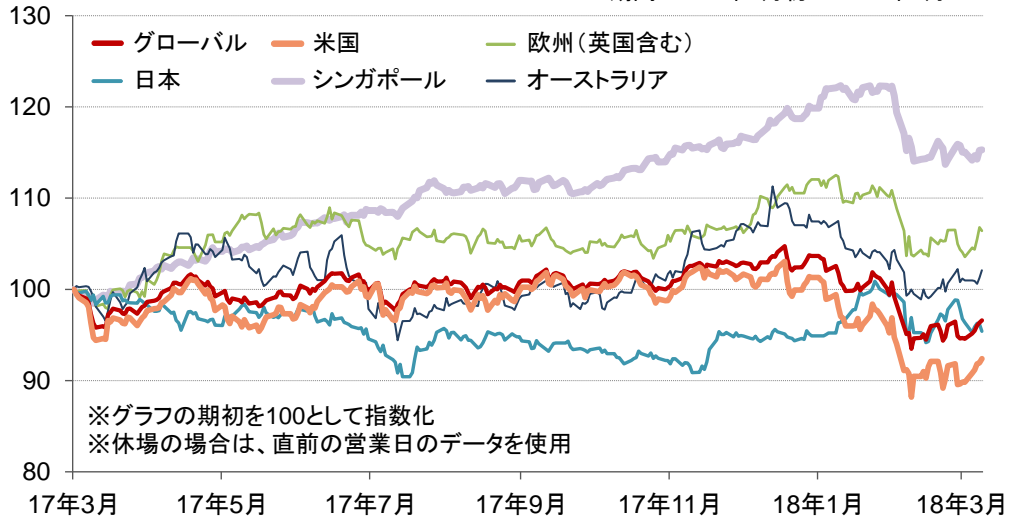
2018年3月第2週号(2018年3月12日発行)

先週(2018年3月5日～3月9日)のグローバルREIT市場の動き

- 先週のグローバルREIT市場は、前週末比+2.1%となりました。
- 米国では、トランプ大統領が保護主義姿勢を強めるなか、REITの利回り資産としての魅力が再認識されたほか、9日発表の2月の雇用統計で、非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に上回った一方、賃金上昇については、伸び率が前月から縮小したことから、物価上昇圧力の後退とともに、利上げ加速懸念が幾分和らいだことなどが好感されました。REITは5日続伸となりました。
 - 欧州では、ドイツで大連立政権の発足が決まり、政局不透明感が後退したことや、8日のECB(欧州中央銀行)理事会後の総裁会見で、金融緩和縮小には時間を要すると、金融政策の正常化に対する慎重な見方が示されたことなどが好感され、REITは上昇基調となりました。
 - 英国では、欧州株高などを受けて株式市場が反発したことや、証券会社の投資判断が引き上げられた物流系REIT大手が上昇するなか、REITは堅調に推移しました。

各国・地域のREIT価格の推移

期間: 2017年3月初～2018年3月9日



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

▶3月9日時点(1週間前=3月2日、3か月前=2017年12月9日、6か月前=9月9日、1年前=3月9日、3年前=2015年3月9日)なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

| 国・地域 | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|----------|----------|--------|-------|-------|-------|------|
| | | 週間 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 |
| グローバル | 501.99 | 2.1 | ▲ 6.2 | ▲ 4.9 | 0.3 | 7.8 |
| 米国 | 1,128.57 | 2.9 | ▲ 8.6 | ▲ 8.6 | ▲ 2.4 | 5.8 |
| カナダ | 1,008.46 | 1.5 | 1.0 | 6.2 | 9.0 | 21.2 |
| 欧州(ユーロ圏) | 690.88 | 2.5 | ▲ 5.5 | ▲ 0.3 | 8.8 | 6.4 |
| 英国 | 86.10 | 3.1 | ▲ 0.4 | 1.5 | 5.1 | 1.0 |
| 日本 | 377.07 | ▲ 1.0 | 1.2 | 1.5 | ▲ 4.0 | 1.0 |
| 香港 | 768.63 | ▲ 1.6 | ▲ 2.5 | 5.1 | 32.3 | 55.5 |
| シンガポール | 601.77 | 0.2 | ▲ 1.5 | 3.2 | 17.1 | 21.1 |
| オーストラリア | 678.99 | 1.1 | ▲ 4.6 | 1.7 | 3.0 | 20.5 |

| 為替(対円) | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|------------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| | | 週間 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 |
| 米ドル | 106.82 | 1.0 | ▲ 5.9 | ▲ 0.9 | ▲ 7.1 | ▲ 11.8 |
| カナダ・ドル | 83.39 | 1.6 | ▲ 5.6 | ▲ 6.0 | ▲ 2.0 | ▲ 13.2 |
| ユーロ | 131.46 | 0.9 | ▲ 1.6 | 1.3 | 8.1 | ▲ 0.0 |
| 英ポンド | 147.92 | 1.3 | ▲ 2.7 | 3.9 | 5.8 | ▲ 19.3 |
| 香港ドル | 13.77 | 1.9 | ▲ 5.3 | ▲ 0.2 | ▲ 7.0 | ▲ 11.8 |
| シンガポール・ドル | 81.15 | 1.2 | ▲ 3.2 | 1.0 | 0.3 | ▲ 7.5 |
| オーストラリア・ドル | 83.82 | 2.2 | ▲ 1.6 | ▲ 3.5 | ▲ 2.9 | ▲ 10.2 |

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

▶当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。
各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日興アセットマネジメント
 facebook twitter で、
 経済、投資の最新情報をお届けしています。 1/1